

自然を守り、森林を活かす。 山林未利用材の活用で地域貢献を。

会社概要

弊社は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、地域の森林組合や素材生産業者などから供給された、利用されないまま山林に放置されている木材(林地残材)や、未利用の間伐材、製材過程で発生する木くずなどの「山林未利用材」を燃料にした木質バイオマス発電所を運営しています。

バイオマス発電への関心が高まる中、我々は、「山を良くする気持ち」と共に、持続的な林業の振興や雇用創出など地域経済の活性化に貢献したいと考えています。



天瀬発電所 発電施設

発電規模 約5,700kw
送電量 約5,000kw (一般家庭約1万戸分)
燃料 未利用材による木質チップ(水分35%)
燃料使用量 約6万t/年
ボイラー最大蒸気量 25t/h
主蒸気温度 450℃
設備 外部循環流動層ボイラー
蒸気タービン、発電機、乾燥設備
燃料加工設備、燃料搬送設備



代表取締役 森山 政美

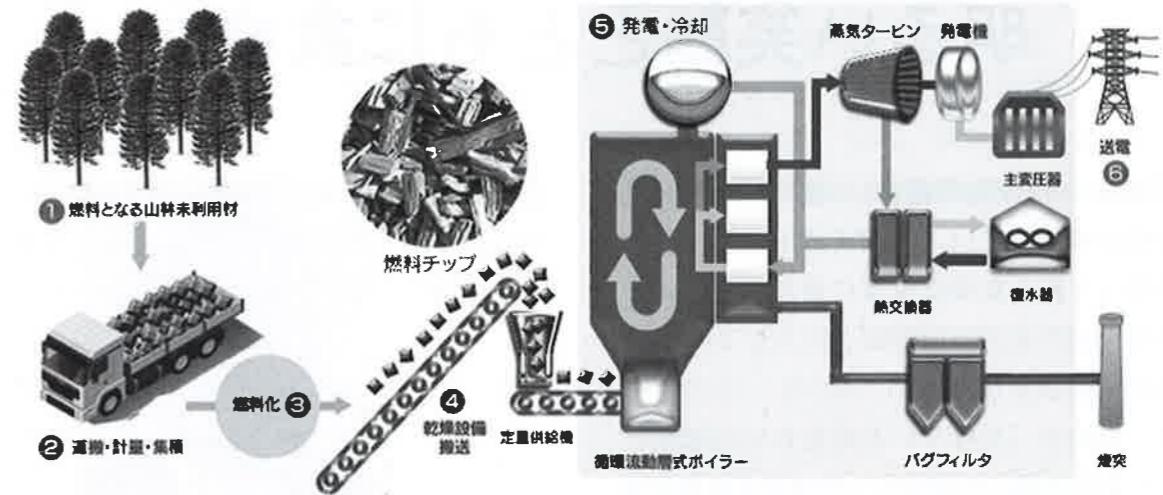
名称	株式会社グリーン発電大分
設立年月日	平成22年12月1日
代表者	代表取締役 森山 政美
従業員数	17人
資本金	9,700万円
事業内容	木質バイオマス発電所運営
本社所在地	大分県日田市諸留町2813-22
天瀬発電所	大分県日田市天瀬町五馬市245-4
ホームページ	http://www.gho.co.jp/

組織概要

事業の内容

現在、木材価格下落の影響により、1960年代に植樹した木材の伐採が進まず、結果として、森林密度の増加による木質の低下や、新たな植林の未実施など、地域資源の循環に支障が生じています。

これまで日田の森林では、原木が豊富に生産される一方で、間伐材や根曲がり材などは多くが山に残されてきました。これらを収集、木質チップ燃料に加工した後、燃料として利用し、発電を行っています。



山林未利用材によるバイオマス発電所の仕組み

以上の取り組みは「森林再生・地域社会のために出来ること」として、また、未利用材に付加価値をつける「日田モデル」として、長期間持続的に管理・運営していく所存です。

今後の取り組み

更に、他産業への貢献として、地元農家の方が隣接地に設置を予定されているトマト用ハウス(20㍍)に排熱を供給する計画を進めており、配管工事も完了しました。また、燃焼後の灰は、不純物がない極めて高品質の肥料として、販路の開拓や拡大を検討しています。

また、発電所を見学される方々には、可能な限り地元施設での宿泊や食事の利用をお願いしています。未利用材を利用する発電所は、全国で2例目ということもあり、1年前の運転開始以来、全国から約1,800名の方にお越しくできました。これからも、発電所の立地効果が最大限生きるよう、お声掛けを続けていきます。

これらの活動を通して、山がきれいになり、森林所有者が、自分の山にもう一度目を向けることが出来るようになることを願っています。

「森林再生・地域社会の為に出来ること」

- ①森林の健全育成への貢献
森林の機能を十分に発揮させるためには、間伐や伐採など適切な森林保全が不可欠です。それに伴い発生する林地残材が、燃料としての価値を持つことで、健全な林業経営に貢献します。
- ②安心・安全に発電所を運転する取り組み
発電設備全体の機械装置は、コンピュータによる自動化が図られています。3交代・24時間体制で発電所全体の運転操作を監視し、発電所の安全運転を支えています。
- ③環境保全への取り組み
ボイラーで燃やした後の排煙は、集じん・バグフィルターを経て、微細な粒子や有害物質を除去した後、安全に排気されます。冷却用水は地下水脈より取水・浄化し、放水は排水処理設備で温排水の影響を除去しています。
- ④地域の活性化
林地残材など、地域の未利用資源の収集・運搬による林業の活性化に加え、バイオマスエネルギー供給施設や関連施設の管理運営といった新しい産業と雇用を発生させ、地域社会の活性化に貢献します。